

株主各位

第26期定時株主総会招集ご通知に際しての インターネット開示事項

連 結 注 記 表 個 別 注 記 表

(2020年1月1日から2020年12月31日まで)

株式会社グローバルインフォメーション

「連結注記表」及び「個別注記表」につきましては、法令及び当社定款の規定に基づき、
当社ウェブサイトに掲載することにより株主の皆様提供しております。

連結注記表

連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項に関する注記

1. 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社の数 1 社

連結子会社の名称 株式会社ギブテック

当連結会計年度において株式会社ギブテックを設立したことに伴い、当連結会計年度より同社を連結の範囲に含めております。

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産

商品及び製品

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定）

原材料及び貯蔵品

移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定）

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法を採用しております。但し、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物	12～50年
---------	--------

工具、器具及び備品	2～8年
-----------	------

②無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な償却年数は次のとおりであります。

商標権	10年
-----	-----

ソフトウェア（自社利用）	5年
--------------	----

(3) 重要な引当金の計上基準

①貸倒引当金

売上債権等の貸し倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

②賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当連結会計年度に見合う分を計上しております。

③役員退職慰労引当金

親会社は役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) その他連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項

①退職給付に係る会計処理の方法

退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

②消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

連結貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 18,693千円

連結株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式に関する事項

当連結会計年度の末日における発行済株式の総数

普通株式 2,625,000株

剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決 議	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	40,000	16	2019年 12月31日	2020年 3月31日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当効力発生日が翌連結会計年度となるもの

普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

決 議	配当の原資	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2021年3月30日 定時株主総会	利益剰余金	普通株式	78,750	30	2020年 12月31日	2021年 3月31日

当連結会計年度の末日における新株予約権（権利行使期間の初日が到来していない新株予約権を除く）の目的となる株式の種類及び数

普通株式 261,200株

金融商品に関する注記

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取り組み方針

当社グループは、資金運用については預金等の安全性の高い金融資産で行い、資金調達については銀行借入による方針です。一時的な余資は安全性の高い金融資産で運用し、デリバティブ取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びリスク

外貨建預金については、主に商品の輸入に伴う外貨建代金決済に利用しており、為替の変動リスクに晒されております。

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。

営業債務である買掛金は、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

①信用リスク(取引先の契約不履行等に係るリスク)の管理

当社は、営業債権について、管理部が取引先別に期日及び残高を管理するとともに、入金状況を営業部門に随時連絡しております。販売管理規程 与信管理基準に基づき、取引先毎に与信限度額を設定し、信用リスクの低減を図っております。

②資金調達に係る流動性リスク(支払期日に支払いを実行できなくなるリスク)の管理

当社は、管理部が適時に資金繰り計画を作成・更新することにより流動性リスクを管理しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2020年12月31日（当期の連結決算日）における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	連結貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	1,517,602	1,517,602	－
(2) 売掛金	239,515	239,515	－
(3) 敷金及び保証金 ※ 1	27,151	25,408	△1,743
資産計	1,784,269	1,782,525	△1,743
(1) 支払手形及び買掛金	105,218	105,218	－
(2) 未払金	19,686	19,686	－
(3) 未払法人税等	4,546	4,546	－
(4) 未払消費税等	35,427	35,427	－
(5) 預り金 ※ 2	9,239	9,239	－
負債計	174,117	174,117	－

※ 1 連結貸借対照表では投資その他の資産の「その他」に含めて表示しております。

※ 2 連結貸借対照表では流動負債の「その他」に含めて表示しております。

(注)金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3) 敷金及び保証金

これらの時価は、期末から返還までの見積り期間に基づき、将来キャッシュ・フロー（資産除去債務の履行により最終的に回収が見込めない金額控除後）を国債の利回り等、適切な指標に基づく利率で割り引いた現在価値により算定しております。

負 債

(1) 支払手形及び買掛金、(2) 未払金、(3) 未払法人税等、(4) 未払消費税等、(5) 預り金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

1 株当たり情報に関する注記

1 株当たり純資産額	514円86銭
1 株当たり当期純利益	102円13銭

重要な後発事象に関する注記

第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）

当社は、2020年12月24日に東京証券取引所ＪＡＳＤＡＱスタンダード市場に上場いたしました。当社は上場にあたり、2020年11月19日及び2020年12月3日開催の取締役会において、エイチ・エス証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を次のとおり決議し、2021年1月25日に払込が完了しました。

- | | |
|------------------|--|
| (1) 発行する株式の種類及び数 | : 当社普通株式75,000株 |
| (2) 割当価額 | : 1株につき1,113.20円 |
| (3) 払込金額 | : 1株につき943.50円 |
| (4) 資本組入額 | : 1株につき556.60円 |
| (5) 割当価額の総額 | : 83,490千円 |
| (6) 払込金額の総額 | : 70,762千円 |
| (7) 資本組入額の総額 | : 41,745千円 |
| (8) 資金の使途 | : 人材採用費、マーケティング費用、システム開発費、子会社である株式会社ギブテックへの融資に充当する予定であります。 |

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式 移動平均法に基づく原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。但し、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	12～50年
工具、器具及び備品	2～8年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な償却年数は次のとおりであります。

商標権	10年
ソフトウェア（自社利用）	5年

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権等の貸し倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金支出に備えるため、内規に基づく当期末要支給額を計上しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

貸借対照表に関する注記

1. 関係会社に対する金銭債権

短期金銭債権	8,004千円
--------	---------

2. 有形固定資産の減価償却累計額	18,500千円
-------------------	----------

損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引以外による取引高	7,200千円
--------------	---------

税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

賞与引当金	1,483千円
-------	---------

退職給付引当金	6,128千円
---------	---------

役員退職慰労引当金	78,171千円
-----------	----------

その他	3,401千円
-----	---------

繰延税金資産小計	89,185千円
----------	----------

評価性引当額	△78,171千円
--------	-----------

繰延税金資産合計	11,013千円
----------	----------

繰延税金負債

未収還付事業税	△1,132千円
---------	----------

繰延税金負債合計	△1,132千円
----------	----------

繰延税金資産純額	9,880千円
----------	---------

1 株当たり情報に関する注記

1 株当たり純資産額	523円34銭
------------	---------

1 株当たり当期純利益	111円03銭
-------------	---------

重要な後発事象に関する注記

第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）

当社は、2020年12月24日に東京証券取引所ＪＡＳＤＡＱスタンダード市場に上場いたしました。当社は上場にあたり、2020年11月19日及び2020年12月3日開催の取締役会において、エイチ・エス証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を次のとおり決議し、2021年1月25日に払込が完了しました。

- | | |
|------------------|--|
| (1) 発行する株式の種類及び数 | : 当社普通株式75,000株 |
| (2) 割当価額 | : 1株につき1,113.20円 |
| (3) 払込金額 | : 1株につき943.50円 |
| (4) 資本組入額 | : 1株につき556.60円 |
| (5) 割当価額の総額 | : 83,490千円 |
| (6) 払込金額の総額 | : 70,762千円 |
| (7) 資本組入額の総額 | : 41,745千円 |
| (8) 資金の使途 | : 人材採用費、マーケティング費用、システム開発費、子会社である株式会社ギブテックへの融資に充当する予定であります。 |